

経皮的冠動脈インターベーションを受けられる患者様へ(橈骨用)(No1)

氏名(@PATIENTNAME)様

月日	／ ()	／ ()	／ ()	
経過	手術前日まで	手術当日(術前)	手術当日(術中) 手術当日(術後)	
達成目標	治療内容の理解ができる。 PCIを受けられる全身状態である。	安心して手術を受ける事ができる。	胸部不快感・気分不良、創部出血がない。 40≦HR≦130を保つことができる。 80≦BP(収縮期)≦150を保つ事ができる。	
治療 処置 薬剤	血液をサラサラにするお薬が始まる場合があります。 薬は前日の夕方より全てお預かりいたします。 手術の時に一部のお薬を飲まないで 頂くことがあります。 ☆() / から休薬 より再開 ☆() / から休薬 より再開 ☆() / から休薬 より再開 2日以上排便のない方は浣腸などをします。	治療は()時頃からです。 朝の薬は看護師がお渡しします。	検査室の入り口で上着を 脱いでスリッパに履き替えて 帽子をかぶって検査室に 入ります。 まず、点滴の注射をします。 心電図モニター、 血圧計を付けます。 手術は1時間半～ 3時間ほどです。	点滴は翌日の朝まで続けます。 薬は翌日の朝まで看護師がお渡しします。 病棟に戻って心電図モニター、 自動血圧計を付けます。 血圧は1時間毎測定します。 血を止めるために、 右/左の手首の動脈 に 圧迫ベルトでしっかり固定しています。 主治医が、血圧を確認しながら圧迫ベルトを ゆるめていきます。 手首を曲げないよう添え木で固定します。 添え木は翌日の朝はずします。
検査				
活動・安静度	(病院内/病棟内)自由です			
栄養(食事)	()Kcal塩分6g ワーファリン食	朝食は(食べられません /半分だけ食べてください) 水分は約一時間前(:)まで飲めます。		
清潔	手術前日に(シャワー浴/入浴)をして下さい。 状態によっては蒸しタオルでお拭きをします。			
排泄	状態によってはポータブルや尿器を使用させていただきます。	手術翌日の午前中まで、ベッド上での 安静が必要なため、手術2時間程前に 尿道に管を入れます。		
説明 指導 教育	準備していただくものは (薬のみ または 曲がるストロー、スプーン、 フォーク)です。 	化粧、マニキュア、時計などの 金属類は必ずしてください。 ☆入れ歯はつけたままでいいです。 手術着とT字帯に着替え、その上から 必要時上着を着ていただきます。 看護師と一緒に車椅子で、 血管造影室に行きます。 分からないことは遠慮なく医師や 看護師にお尋ねください。 痛いとき気分が悪いときなどは すぐにおっしゃってください。	尿は管から出るの心配ありません。 大便是寝たままです いただきます。 わからないことは遠慮なく医師や看護師にお尋ねください。 痛いとき気分が悪いときなどすぐおっしゃってください。	

経皮的冠動脈インターベーション術を受けられる患者様へ(橈骨用)(No2)
 担当医師() 受け持ち看護師()

月日	/ ()	/ ()	/ ()
経過	術後1日目	術後2日目	術後3日目～退院
達成目標	胸部不快感・気分不良、創部出血がない。 40≦HR≦130を保つことができる		胸部不快感・気分不良、創部出血がない。 40≦HR≦130を保つことができる
治療 処置 薬剤	80≦BP(収縮期)≦150を保つ事ができる 9時～10時頃に圧迫ベルトをはずします。 そして傷口を消毒します。 1時間ほどベッド上で安静にさせていただきます。 その後問題なければ、点滴、血圧計、心電図、 尿道に入れた管をはずし、 体を拭いて元のお部屋に帰ります。		80≦BP(収縮期)≦150を保つ事ができる 採血結果の異常がない 退院後の生活について理解できる 
検査	○採血 ○心電図 ○胸部レントゲン があります。		○採血 ○心電図 ○胸部レントゲン があります。
活動・安静度	医師の許可後、観察室から元のお部屋に 帰ります。 その後は病棟内のみ自由に動けます。	許可後、病棟内または院内 自由です。	
栄養(食事)			
清潔	入浴はできないため、蒸しタオルで体をお拭き します。	術後2日目から主治医の 許可後シャワー浴か入 浴ができます。	
排泄	病棟内のトイレを使用してください。 尿は翌日の朝10時まで ためていただきます。		
説明 指導 教育		栄養指導があります。(入院時すんでいない場合) 服薬指導は退院前日ごろにお部屋で薬剤師より 説明があります。 手術の結果と退院後の注意点などをお話いたします。 ご家族と一緒にこられる日時を主治医と相談ください。	